

令和4年度 ACTR

分類 番号	A1	取組 名称	過疎化が進む地域における文化遺産の地域資源化に向けての実践的研究 —京丹後市久美浜町須田区からの発信—
研究代表者所属・職名：		文学部・准教授	氏名： 諫早 直人
研究担当者： 京都府立大学（菱田哲郎、本庄総子、塚本敏夫（敬称略）） 外部分担者・協力者（金宇大氏、栗山雅夫氏、奥勇介氏、森島康雄氏、岸本卓也氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京丹後市教育委員会、京丹後市久美浜町須田区、京都府立丹後郷土資料館など			
【研究活動の要約】			
本研究では、丹後半島を代表する文化遺産の一つである古墳、とりわけ京丹後市久美浜町須田区に所在し、京都府を代表する後期古墳である湯舟坂2号墳にフォーカスし、古墳やその出土品に対して基礎的な学術調査を進めた上で、その学術的成果を地域に還元し、地域に眠る文化遺産を地域住民自らが「地域資源」として認識し、持続的に活用していける仕組みの構築を目指しました。文化遺産の本質的な価値を守りながら、それを「地域資源」とする試みを市や地元と協働・実践する営みを通じて、地域の文化遺産の調査・研究から保存・活用に大学が持続的に関わっていく仕組みをつくりだし、大学による文化遺産を通じた地域貢献モデルの一つを提示しました。			
【研究活動の成果】			
①文化遺産の地域資源化の基礎となる学術調査の実施 湯舟坂2号墳に先行する首長墳である須田平野古墳の墳丘・石室の測量調査を実施し、その規模や構造を明らかにしました。また湯舟坂2号墳出土装飾大刀の類例調査を実施しました			
②ACTR 成果報告会の開催による研究成果の発信 京丹後市教育委員会、京丹後市久美浜町須田区と共同で ACTR 成果報告会「地域資源としての湯舟坂2号墳Ⅱ—出土品研究の最前線—」を開催し、ACTR 調査で得られた最新の成果を、地元を中心とする一般市民の皆様に還元しました。			
③学生による文化遺産の地域資源化 測量調査中に地元の京丹後市高龍小学校の生徒を古墳に案内をしたり、須田区古墳マップなどのグッズを作成したりと、地域にある古墳の魅力を学生が主体となって地元住民に伝えました。			
【研究成果の還元】			
<ul style="list-style-type: none"> ・R4. 10. 15. 京丹後市役所久美浜庁舎 参加者約 80 名 令和4年度京都府立大学 ACTR 湯舟坂2号墳プロジェクト成果報告会「地域資源としての湯舟坂2号墳Ⅱ—出土品研究の最前線—」 ・R5. 3. 15-5. 9 京都府立大学京都学歴彩館ラウンジパネル展「府大生による…探検！発見！歴彩館—コラボで探る京都学—（8）」ポスター発表 ・京都府立大学文学部考古学研究室 2022『地域資源としての湯舟坂2号墳Ⅱ—出土品研究の最前線—《発表資料集》』 ・京都府立大学文学部考古学研究室 2023「古墳を地域資源化する（3）—湯舟坂2号墳プロジェクトの2022年—」『京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報』第9号 ・京都府立大学文学部考古学研究室 2023「京丹後市須田平野古墳の調査（1）」『京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報』第9号 (いずれも府大図書館で閲覧可) 			
【お問い合わせ先】 文学部 歴史学科・考古学研究室 准教授 諫早 直人 Tel: 075-703-5274 E-mail: iashaya@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）

2022年度 ACTR「過疎化が進む地域における文化遺産の地域資源化に向けての実践的研究」（研究代表：諫早直人）

京都府立京都学・歴史館京都学ラウンジパネル展「府大生による…探検！発見！歴史館-コラボで探る京都学-(8)」(2023年3月15日～5月9日)

魅力を発信！ 湯舟坂 2 号墳プロジェクト

地域と目指す文化遺産活用

湯舟坂 2 号墳プロジェクトとは

湯舟坂 2 号墳は京丹後市久美浜町に所在する古墳時代後期の古墳です。40 年前に発掘調査され、双龍環頭大刀をはじめ様々な遺物が出土し、国の重要文化財に指定されています。京都府立大学文学部考古学研究室では、2020 年度より京丹後市教育委員会・京丹後市久美浜町須田区などと共に、次の 2 つを研究目的とする「湯舟坂 2 号墳プロジェクト」に取り組んでいます。

- ①湯舟坂 2 号墳および出土品の再調査を通じて、古墳や出土品、当時の調査を再評価する。
- ②調査成果をもとにこれらの文化遺産を「地域資源」として活用し、地元の方々に「地域らしさ」を感じてもらえる仕組みを創りだす。

今回は 2022 年度の成果として、本プロジェクトにおける学生の取り組みを紹介します。



今年度の調査

9 月 19 日～ 27 日に湯舟坂 2 号墳に先行する首長墳と考えられている須田平野古墳の墳丘、石室の測量調査を実施しました。今回の調査によって須田平野古墳周辺の詳細な地形情報が明らかとなりました。来年度以降、更なる調査を進めていく予定です。



つなプロ

京都府が取り組んでいる「次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト（通称：つなプロ）」の一環として、調査中の 9 月 26 日に地元の高龍小学校の 5 年生を招き、須田平野古墳・湯舟坂 2 号墳の見学ツアーを開きました。ツアーでの体験を活かし、5 年生たちはその後の演劇発表、動画撮影、プロジェクト冊子の作成を通して、地域の魅力を発信しました。



成果報告会

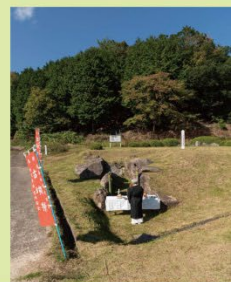
10 月 15 日に開催された湯舟坂 2 号墳プロジェクト成果報告会では、湯舟坂 2 号墳出土品の高精細写真などを展示し、学生が来場者に向けて写真の解説をおこないました。

また成果報告会ではアンケートを実施し、回答していただいた方にポストカード、古墳の周辺マップ、クリアファイルを返礼としてお渡ししました。報告会を通して、地域の方々の文化遺産に対する思いに触れることができ、今後の活動の参考になるものとなりました。



古墳慰霊祭

1982 年以来続いている湯舟坂 2 号墳での古墳慰霊祭が 10 月 16 日に開催され、私たち考古学研究室は地域の方々と共に参列しました。昨年度は悪天候により地域のお寺での開催となりましたが、今年度は晴天に恵まれました。



グッズ制作

今年度制作したグッズの中でも、ポロシャツは地域の方や市の方々と協力して制作しました。完成したポロシャツは調査や成果報告会などの各イベントでプロジェクト関係者が着用し、本プロジェクトのユニフォームになっています。



地域との連携

須田平野古墳の解説板の老朽化が進んでいたため、地域の方々と連携して 2022 年の 2 月に新たに制作・設置しました。さらに 6 月と 10 月には湯舟坂 2 号墳の草刈りにも参加し、作業後には地域の方々と共に食事をするなど、昨年にも増して交流を深めています。

作成：京都府立大学文学部考古学研究室（大須賀文汰郎、重野正和） 協力：京丹後市教育委員会、京丹後市久美浜町須田区、栗山雅夫（奈良文化財研究所）